

【特集】縄文雪まつり2025～縄文LOVE大集合！～

世界遺産登録から3周年。昨年に引き続き、「さっぽろ雪まつり」期間のチカホにおいて、縄文をテーマに活動している皆さんの力を集結し、「縄文雪まつり2025」を開催しました。

日時：2025年2月8日(土)11:00-19:00、2月9日(日)10:00-17:00

場所：チ・カ・ホ北3条交差点広場(西)

主催：北の縄文道民会議

共催：北海道、北海道縄文のまち連絡会 後援：札幌市

協力：道立埋蔵文化財センター、北海道中央バス(株)、縄文LOVEな皆さん

※この事業は、イオン北海道株式会社発行の「ほっかいどう遺産WAON」助成金により実施しました。

主な内容：出土品展示(3点)、マルシェ&ブース(24団体)、縄文リレートーク(21団体)

来場者数：13,640人(昨年比30%増)

<目的と成果>

- * 世界遺産登録3周年を記念し、世界遺産ブースを設置するとともに、構成資産・関連資産の学芸員がステージに登壇し、それぞれの遺跡の価値や魅力を国内外の多くの方々に紹介しました。
- * 各地で縄文テーマに活動するクリエイターや自治体、企業などが結集し、この催しを作り上げネットワークをより強固にしました。
- * 2日間にわたり、多くの国内外からの来場者で賑わいました。昨年以上の盛り上がり、縄文ファンが一層広がっていることを改めて実感しました。



ブースを展開した縄文LOVEな皆さん



さっぽろ雪まつり会場のビビちゃん雪像

◆3つの展示品(いずれも複製)

お馴染みの場所で出土した人気の3体を展示しました。

<国宝>中空土偶：愛称「カックウ」。函館市のじゃがいも畑から出土

<国指定重要文化財>動物形土製品：愛称「ビビちゃん」。新千歳空港の滑走路工事で出土

<札幌市指定有形文化財>札幌市N30遺跡土偶：愛称「イケメン」。西区二十四軒で出土



専門家による解説は大好評

◆わくわくマルシェ(24団体)

縄文グッズや縄文スイーツなどの販売、ワークショップ、PRブースが展開され、終日大賑わいでした。

《出展》ドニワ部合同(タネダアズサ、忠太郎商店、nina、イタベリ縄文部、To.t、キムラン堂)

染谷商会(半人半蛙)、縄文クリエイターズ、いるば28、縄文DOHNNANプロジェクト、ナチュの森

札幌国際大学縄文世界遺産研究室、函館市、函館スイーツ推進協議会、遠軽町、えんがる町観光協会

白滝ジオパーク推進協議会、サイエンスカフェin千歳、道庁縄文世界遺産推進室、石狩振興局、渡島総合振興局

亜璃西社、中北薬品、北の縄文道民会議



◆ぶつつづけ！縄文リレートーク(21団体)

2日間休憩をはさまず、専門家、地域の学芸員、縄文をテーマに活動している皆さんが次々と登壇し、30分ずつのリレートークを行いました。熱いトークに会場は常に満席でした。

1日目(2月8日)

11:30 オープニング

マルシェ・ブースの代表者15名が熱くPR



12:00 カックウ・イケメン・ビビちゃんのお話

道立埋蔵文化財センター 長沼孝さん

トークのトップバッター。展示の3体の土偶・土製品について解説いただきながら、土偶の魅力など興味深いお話をいただきました。この時点で、会場は満席。幾重にも立ち見ができる状態になりました。



12:30 オホーツクのマチから

国宝「白滝遺跡群出土品」

遠軽町埋蔵文化財センター 松村愉文さん

2023年に指定された日本最古の国宝「北海道白滝遺跡群出土品」の黒曜石の魅力や、縄文時代よりはるか前の旧石器時代や、白滝ジオパークの取組みについて動画を交えて解説いただきました。



◆ぶつつづけ！縄文リレートーク（2月8日・つづき）

13:00 オホーツクのマチから
 なぞの古代海洋民族・オホーツク文化
 北見市教育委員会 中村雄紀さん

北見市の「常呂遺跡」や網走の「モヨロ貝塚」など、謎がたくさんのおホーツク文化について解説いただきました。縄文、続縄文、擦文、オホーツク文化と独特な文化が生まれた背景や特徴に、会場からもたくさんの質問が寄せられました。



14:00 世界遺産のマチから
 大船遺跡と垣ノ島遺跡
 函館市教育委員会 野村祐一さん

ここからは、世界遺産に登録された遺跡の学芸員さんが次々と登壇。まずは函館市から、世界遺産の解説とともに、1万年の気候変動に対応して、大船遺跡と垣ノ島遺跡でどの時期にどんな暮らしをしていたのかなどを解説いただきました。



14:30 世界遺産のマチから
 北海道最大のストーンサークル！鷲ノ木遺跡
 森町教育委員会 片山弘喜さん

噴火前の駒ヶ岳をシンボルとしながら祭祀場所となった鷲ノ木遺跡の巨大なストーンサークルについて、その位置づけや役割を解説いただきました。森町で出土した「トリサキ遺跡土偶」をモチーフとした手ぬぐい（梁谷商会）を首にかけての登壇でした。



16:00 世界遺産のマチから
 つながる縄文シティ 入江・高砂貝塚
 洞爺湖町教育委員会 角田隆志さん

昨年秋に洞爺湖町で開催された「縄文シティサミット」。全国の縄文遺跡のある都市が集結し、遺跡の活用や未来への取組について意見交換を行いました。その準備のために住民のみなさんと様々な取組を展開してきたことから、神馬実行委員長も急遽登壇し、熱い思いを伝えてくださいました。



15:30 世界遺産のマチから
 ルート37が伝えるJOMONの心
 伊達市教育委員会 永谷幸人さん

内浦湾をぐるりと巡る国道37号線沿いには、伊達市の北黄金貝塚や洞爺湖町の入江・高砂貝塚をはじめ、たくさんの遺跡が点在しており、縄文時代から豊かな地域であったことがわかります。そのうち北黄金貝塚の魅力も語っていただきました。



15:00 みんなでお祝い！
 世界遺産3周年奉祝演奏

ジャンベ・縄文太鼓奏者
 茂呂剛伸さんと仲間のみなさん

ゲストとして、茂呂剛伸さんと仲間の3人が登壇。前半は詩の朗読に縄文太鼓の音色を合わせ来場者を縄文時代にいざない、後半は一昨年の日野皓正さんのセッションCDの争奪じゃんけん大会。チカホという公共空間のため演奏には音量制限がありましたが、盛り上がりは最高潮でした。



ゲスト

16:30 世界遺産のマチから
 ガイダンス施設できるキウス周堤墓群
 千歳市教育委員会 豊田宏良さん

50年以上前と最近行われたキウス周堤墓群の発掘調査でわかったことや、墓坑や出土品の様子を動画やスライドを用いてわかりやすく解説いただきました。また、現在整備中のガイダンス施設の概要が紹介されました。



17:00 縄文クイズ
 渡島総合振興局商工労働観光課
 原田由佳さん、丸岡遥さん

1日目のラストは、渡島総合振興局の観光担当の二人による縄文クイズ！管内の世界遺産遺跡である大船遺跡・垣ノ島遺跡（函館市）、鷲ノ木遺跡（森町）の魅力や出土品について説明の後に出題。会場は、賞品の素敵なノベルティをめぐって大盛り上がりでした。



2日目（2月9日）

11:30 世界遺産だけじゃない！
 函館の縄文遺跡
 函館市教育委員会 野村祐一さん

2日目のトップバッターは、初日にも登場した函館市。市内には世界遺産の遺跡のほかにも多くの遺跡があり、その魅力や、国宝「中空土偶」をはじめユニークな出土品についてもご紹介いただきました。また、函館スイーツ推進協議会など地域での縄文をテーマとした取組についてもお話いただきました。



◆ぶつつづけ！縄文リレートーク（2月9日つづき）

12:00 余市町の縄文 珍品勢ぞろい！大川遺跡 余市水産博物館 高橋美鈴さん

世界遺産に登録された遺跡以外にも、北海道には、各地に興味深い遺跡がたくさんあります。余市町のかわいい、オモシロイ品々が出土した大川遺跡についてご紹介いただきました。余市水産博物館のキャラクター「土器じい」のモデルとなった土器も登場しました。



12:30 江別市の縄文 マチナカの大遺跡～高砂遺跡最新情報 江別市郷土資料館 佐藤一志さん

世界遺産に登録された遺跡以外にご紹介いただいたもう一つのマチは、札幌市の隣・江別市。市役所のすぐ近く、高砂駅前で確認された高砂遺跡の発掘調査の様子や、大麻3遺跡で重なりあって出土した2体の土偶などについて、興味深いお話をいただきました。



13:00 縄文世界遺産と私たち ＜対談＞豊田亜紀子さん×阿部千春さん

縄文をわかりやすく伝える多数の著書をもつ豊田亜紀子さん（土偶女子、ライター）と道庁特別研究員の阿部先生とのシナリオなしの1時間トーク。縄文の暮らしが私たちに教えてくれることや、自然に感謝しながらその一員として暮らす縄文人の姿など、縄文が世界遺産となった意義や私たちの役割について楽しく伝えていただきました。



ゲスト

15:00 THE JOMON：縄文と老人 北海道教育庁 文化財・博物館課 藤原秀樹さん

「老人と海」シリーズの2つ目のトークは、縄文時代の「老人」がテーマ。縄文人の寿命や高齢者の位置づけ、お墓の様子や出土品などから推察される「老人」の役割や、本州などと比較した北海道の特徴など、興味深い考察が次々と紹介されました。



14:30 THE JOMON：縄文と海

札幌国際大学縄文世界遺産研究室
越田賢一郎 先生

ここからはヘミングウェイの小説「老人と海」になぞらえて、3人の専門家の方が登場。最初は、越田先生から、縄文人と「海」の関係を興味深く伝えていただきました。遺跡のある場所には「海」の存在があり、縄文海進と暮らしの変化など、わかりやすいお話が満載でした。



14:00 N30遺跡の土偶と 札幌の縄文 札幌市埋蔵文化財センター 榎田朋広さん

札幌市西区で発見されたN30遺跡とそこから出土した土偶（展示／愛称イケメン）の発掘の様子を解説いただきました。また札幌市内で発見された数々の遺跡のうち、さとらんどにある遺跡や、様々な体験ができる丘珠の施設などについて紹介いただきました。



15:30 THE JOMON： 「老人と海」の狭間で 道庁縄文世界遺産推進室 村本周三さん

「老人と海」シリーズの最後は、小説の中に出てくるキーワードをもとに、縄文時代の様子を次々と紹介する練りに練ったトーク。サメや塩、投網などの単語から、縄文の道具の工夫や、遺跡で発見されたものなどについて丁寧に教えていただきました。



16:00 アートでみる環状列石

道教育大学岩見沢校
アートプロジェクト研究室 柴田尚先生

環状列石をアートの視点でアプローチ、イギリスのストーンヘンジやオークニー諸島を実際に訪れて、研究者と意見交換をしてきた柴田先生。昨年、室蘭市の旧絵柄小学校の円形校舎で実施した「石」を積むワークショップの様子も紹介されました。



16:30 縄文クイズ大会 &クロージング

ステージ最後は縄文クイズ大会！道と道教育庁のみなさんがつくった3択問題を、司会の山口由美さん、解説の道教育庁の舎川さんが次々と出題。正解した方には、マルシェで販売されていた素敵な縄文グッズをプレゼントしました。おわりに、荒川代表からこのイベントと一緒に盛り上げた縄文LOVEな皆さんや来場者にお礼を述べ、閉会しました。

